

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

26年 6月 25日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所 兵庫県三木市大塚218 - 3

氏 名 医療法人社団 一陽会
理事長 服部 哲也

電 話 番 号 0794 - 82 - 2550

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	医療法人社団 一陽会 服部病院
事業場の所在地	兵庫県三木市大塚218 - 3
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	8311 一般病院
事業の規模	病床数 150床(平成26年3月31日現在)
従業員数	294名(平成26年3月31日現在)
特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	病院より排出、委託業者が引取・運搬の後、焼却処理を経て、最終処分地に埋め立てをする。

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙のとおり		
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
現状	【前年度(平成 25年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
	排出量	98.460 t
	引火性廃油	0 t
(これまでに実施した取組) 院内の各部署で排出される感染性廃棄物の内容を確認・整理し分別を強く意識するように周知しました。		
計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
	排出量	95.000 t
	引火性廃油	0 t
(今後実施する予定の取組) 引き続き、院内各部署で排出される感染性廃棄物の分別を行い廃棄物処理における分別の精度を高めていきます。		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項		
現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類は注射器・輸血器具・ガーゼ類・血液回路・ダイアライザーで、分別の体制は徐々に確立してきており、隔離した廃棄物保管庫で厳重に保管・管理しています。	
計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類は比較的形が大きい血液回路・ダイアライザー・輸血器具と形が小さい注射器・ガーゼ類となっている。分別に関する取組みは同廃棄物の排出量をさらに可能な限り、抑制します。	

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	全処理委託量	98.460 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	98.460 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	98.460 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 平成25年9月に委託業者の処理工程と最終処分地の視察を行いました。		

計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	全処理委託量	95.000 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	95.000 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	95.000 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>本年度も年1度の委託業者の処理工程と最終処分地の視察を行います。</p>		
事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) 欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 8 欄は記入しないこと。

(別紙)

【管理体制図】(当院「感染性廃棄物処理規程」より抜粋)

